

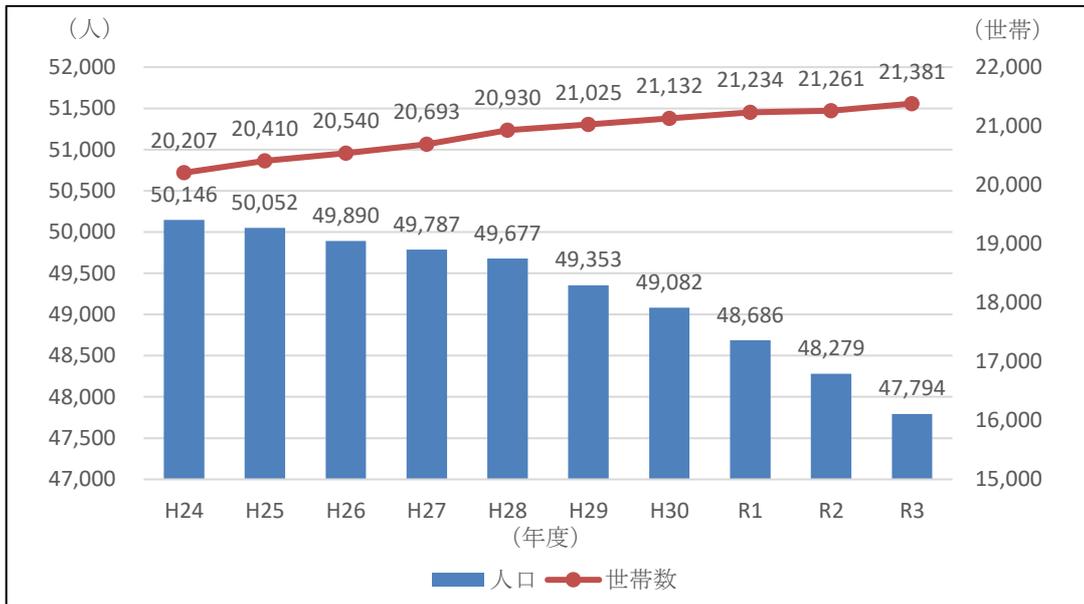
## 第2章 伊豆の国市の概況

### 第1節 地域の特徴

#### 1. 人口及び世帯数

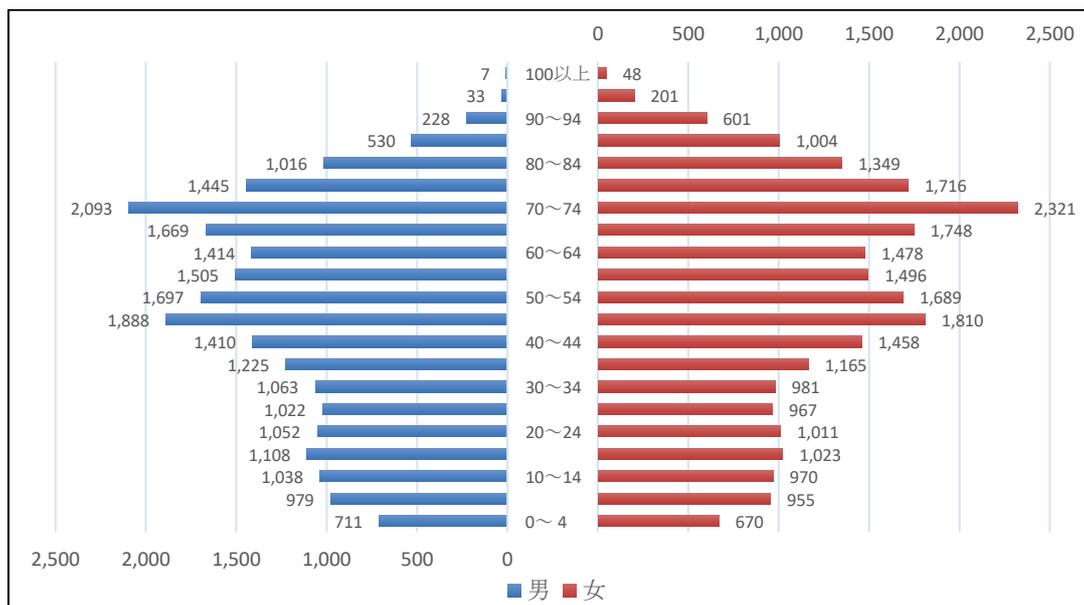
本市の人口は令和3年4月1日現在で47,794人、世帯数は21,381世帯となっています。人口は平成24年4月1日以降の10年間で2,352人減少している一方で、世帯数は1,174世帯増加しています。（図2-1参照）

また、年齢別の人口構成では、70歳から74歳（第1次ベビーブーム期の頃）の年代と、45歳から49歳（第2次ベビーブーム期の頃）の年代に人口のピークがあり、以降、出生数は年々減少し、少子高齢化の傾向があります。（図2-2参照）



出典：「住民基本台帳人口」（各年度4月1日現在、外国人人口を含む）

図2-1 人口及び世帯数の推移



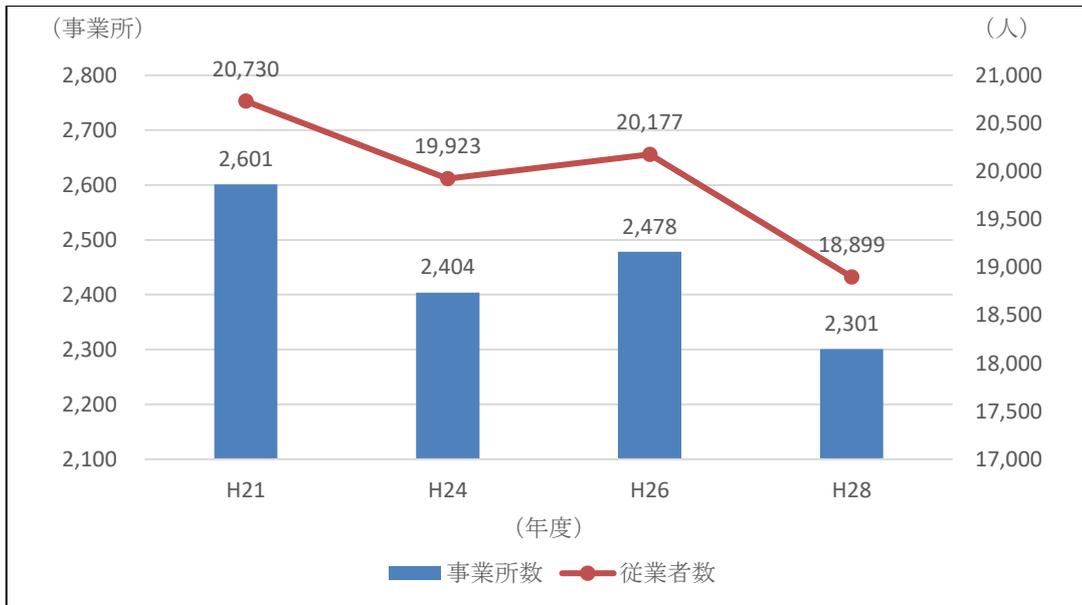
出典：「住民基本台帳人口」（外国人人口を含む）

図2-2 男女別・年齢別人口構成（令和3年4月1日現在）

## 2. 産業

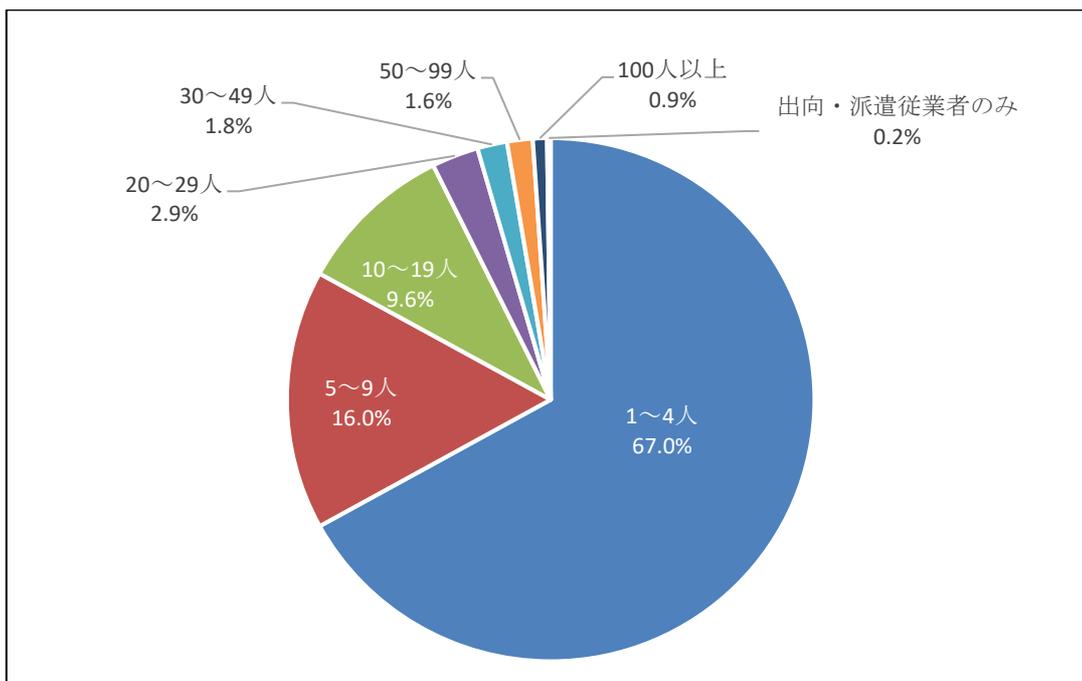
本市における平成28年度の事業所数は2,301事業所、従業者数は18,899人で、事業所、従業者数ともに減少傾向にあります。（図3-1参照）

また、事業所の規模では、1～4名の小規模事業所が全事業所数の67.0%を占めています。（図3-2参照）



出典：「経済センサス基礎調査（平成21・26年）、経済センサス活動調査（平成24・28年）」

図 3-1 事業所数及び従業者数の推移

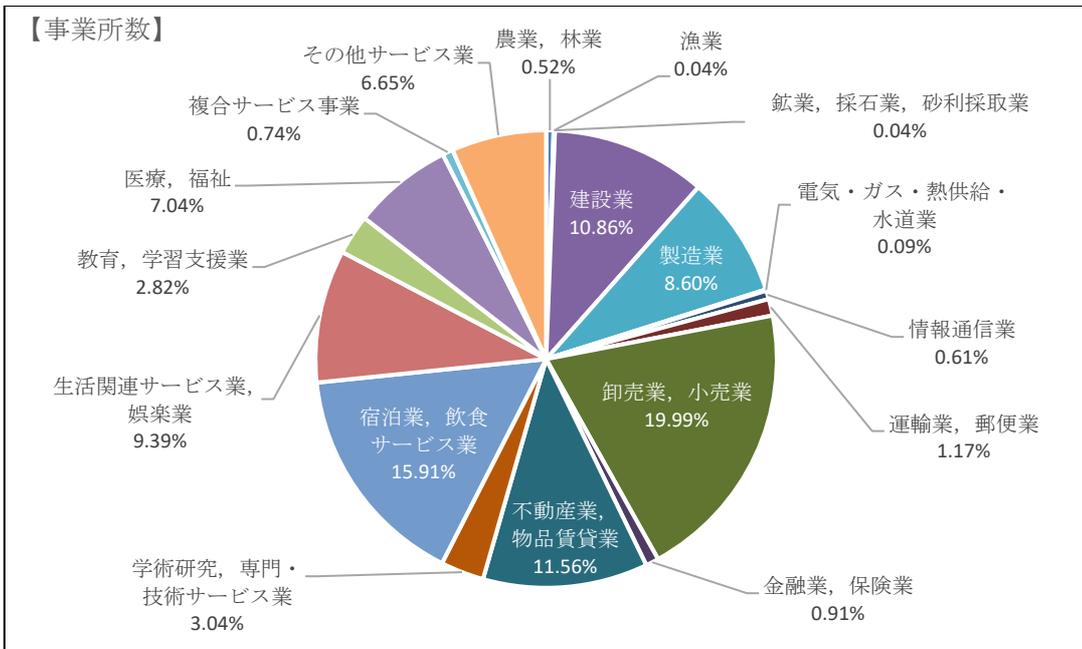


出典：「経済センサス活動調査」

図 3-2 従業者規模別事業所数の割合（平成 28 年度）

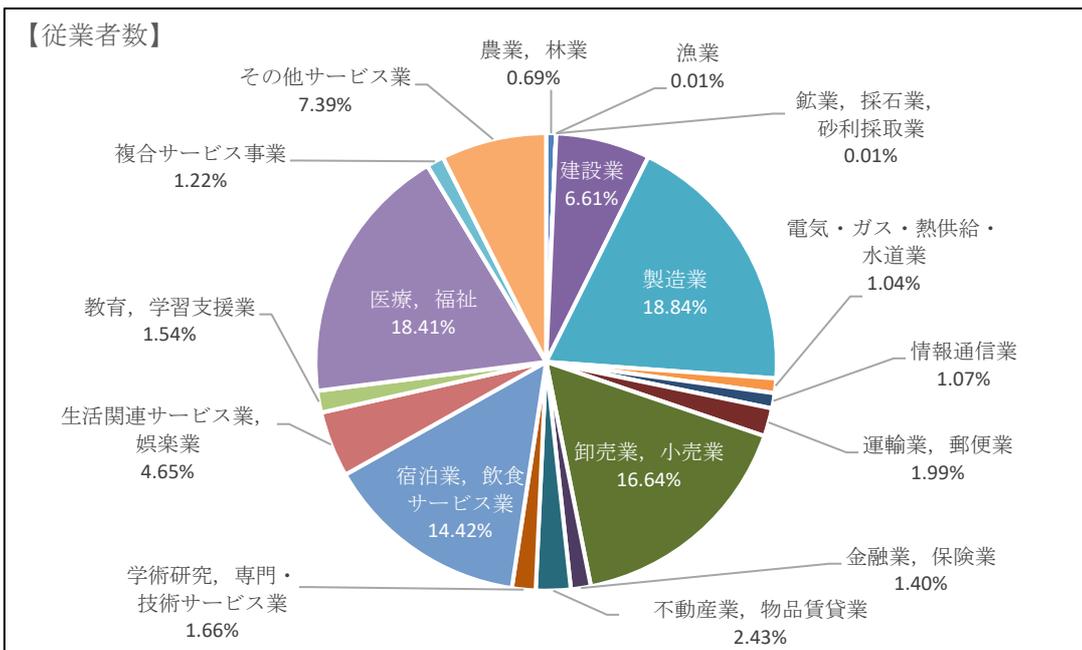
本市における産業構造について、事業所数は、卸売業・小売業の割合が19.99%と最も高く、次いで宿泊業、飲食・サービス業が15.91%、不動産業、物品賃貸業が11.56%の順となっています。（図3-3参照）

また、従業者数については、製造業の割合が18.84%と最も高く、医療・福祉が18.41%、卸売業・小売業が16.64%の順となっています。（図3-4参照）



出典：「経済センサス活動調査」

図 3-3 産業構造（事業所数・平成28年度）



出典：「経済センサス活動調査」

図 3-4 産業構造（従業者数・平成28年度）